

AI オンデマンド交通実証実験について

令和6年12月17日

令和6年度第2回豊能町地域公共交通会議資料

3 回目の実証実験実施について

○ 2 回の実証実験の結果

		期間	日数	車両台数	乗車人数	平均乗車人数	アプリ予約率	相乗り率
令和4年度	無償	2月1日～28日	28日	3台	3,214人	114.8人/日	83.2%	65.6%
令和5年度	有償	10月17日～2月19日	126日	3台	3,243人	25.7人/日	76.7%	19.4%

○ 実証実験の目的

令和4年度	令和5年度	令和6年度
<ul style="list-style-type: none">・新しい交通モードの周知・新しいサービスへの社会受容性の検証・有用性と課題の確認・導入可能性の検証	<ul style="list-style-type: none">・価格受容性の検証・サービス精度向上・既存公共交通への影響・運行面、事業性の確認・住民の利便性、有用性の確認	<ul style="list-style-type: none">・持続可能な収支モデルの構築・需要に応じた台数での効率的な運行・外出機会の増加・サービス精度の向上

■ 地域公共交通会議における協議事項は下記のとおりです。

1. 営業区域

豊能町西地区【吉川地区、ときわ台（ときわ台一丁目～六丁目）、東ときわ台（東ときわ台一丁目～九丁目）、光風台（光風台一丁目～六丁目）、新光風台（一丁目～五丁目）】

2. 運行態様（事業種別）

運行態様：一般乗合旅客自動車運送事業 区域運行（道路運送法施行規則第3条の三）

3. 運行期間及び運行時間帯

運行期間：令和7年3月1日～令和7年3月31日

運行時間帯：9：00～17：00

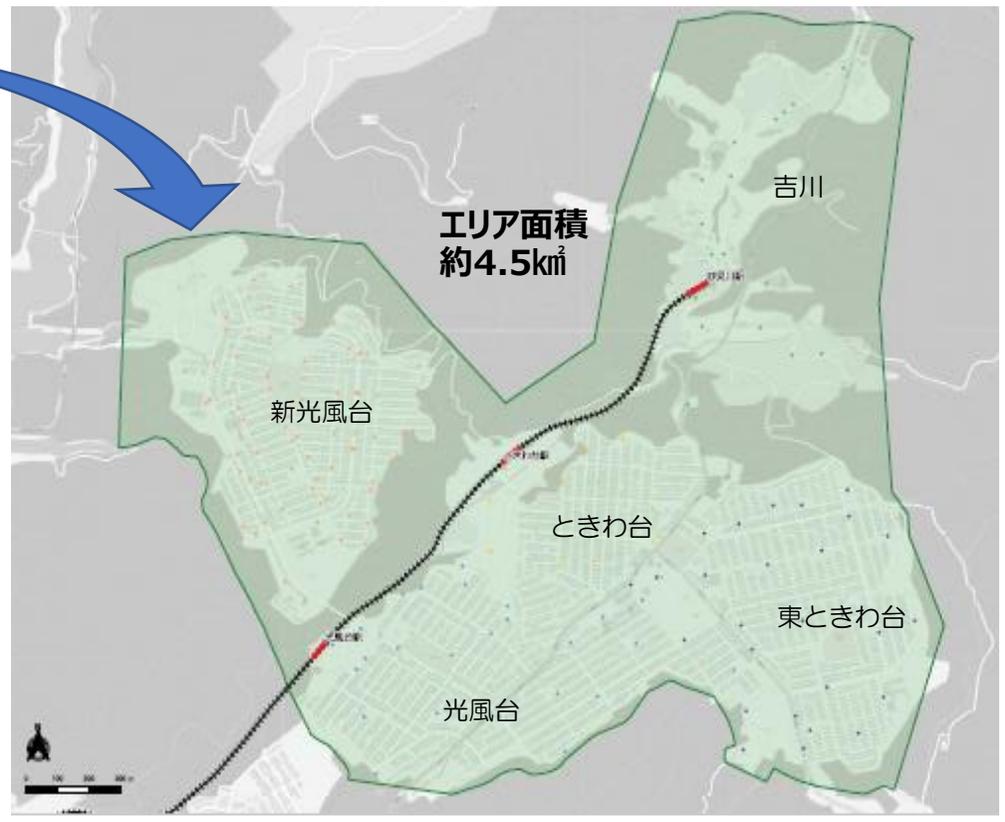
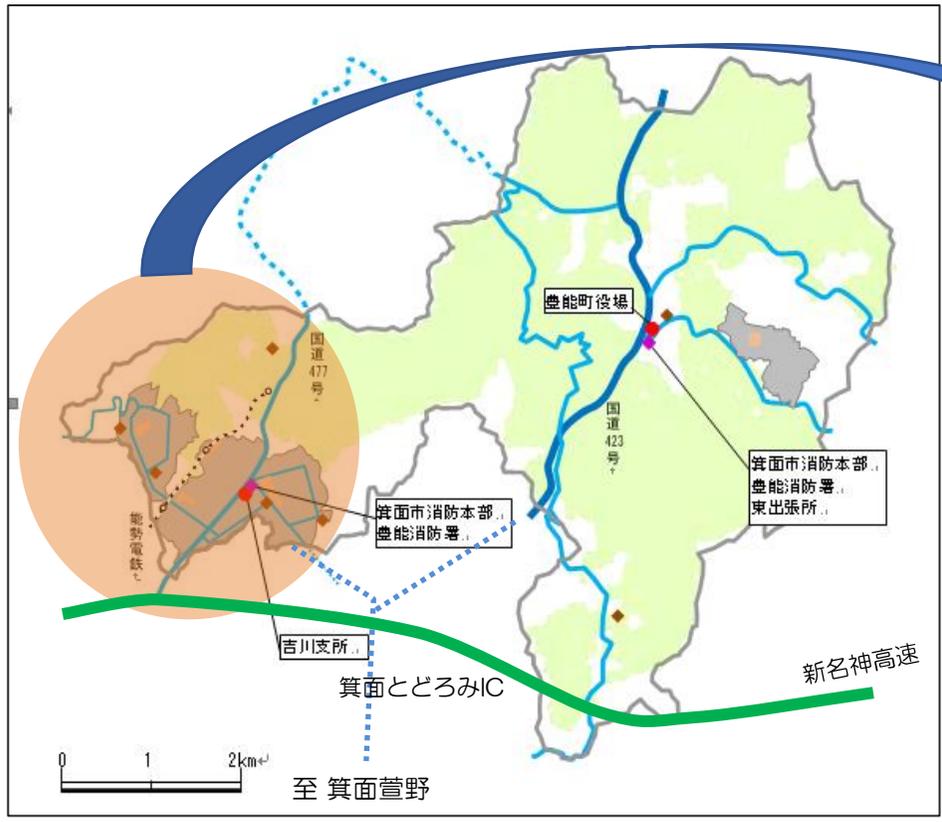
運行回数：1台1時間あたり最大6便運行

4. 使用車両及び台数

使用車両：ワンボックス車両（乗車定員10人（旅客定員8人））

車両台数：1台

1. 運行対象エリア（西地区：吉川・ときわ台・東ときわ台・光風台・新光風台）



対象人口	世帯数	高齢化率	阪急バス豊能西線 (平均乗車人員/日)	西地区デマンドタクシー (平均乗車人員/日)
13,856人 (町全体17,820人)	6,674世帯 (町全体8,612世帯)	51.0% (町全体50.0%)	571人/日	9人/日

※人口・世帯数・高齢化率はR6年11月、乗車人員/日はR5年度データ

2. 実証実験の概要

概 要	項 目	内 容
	実施主体	豊能町・阪急バス株式会社・京都タクシー株式会社
	実施期間	令和7年3月1日～令和7年3月31日
	運行時間	9 : 0 0 ~ 1 7 : 0 0
	運行事業者	京都タクシー株式会社
	事業許可	区域運行（道路運送法施行規則第3条の三）
	対象エリア	豊能町西地区（吉川、ときわ台、東ときわ台、光風台、新光風台）
	エリア面積	約 4.5km ²
	使用車両台数	1台（ワンボックス車両：乗車定員10人（旅客定員8人））
	乗降拠点設置箇所数	111箇所（想定）
	運賃設定	大人（中学生以上）：300円 小人（小学生以下）・障害者：100円
	予約方法	予約アプリまたは電話

※乗降拠点設置箇所数については、今後の公安協議等により変更となる可能性があります。

3. ミーティングポイント（想定）

○ミーティングポイントは、日常の移動目的となる施設を中心に設定

地区	地点数	主な地点
吉川	15箇所	妙見口駅、吉川自治会館、祥雲館
ときわ台	13箇所	ときわ台駅、ときわ台自治会館、池田泉州銀行、ひらがクリニック
東ときわ台	27箇所	吉川支所、ユーベルホール、東ときわ台小学校、阪急オアシス、井上医院、北川歯科
光風台	24箇所	光風台駅、図書館・保健福祉センター、西公民館、デイリーカナート、西浦医院、氷見歯科医院、光風台診療所（加藤歯科）
新光風台	32箇所	シートス、コープ、光風台小学校、新光風台自治会館
計	111箇所	



【目印設置イメージ】



置き型タイプ



標柱タイプ



路面シートタイプ

4. 運行車両

○運行車両

項目	内容
使用車両	ワンボックス車両〔乗車定員10人（旅客定員8人）〕
車両台数	1台で運行（予備車あり）
車両デザイン	下記写真のとおり

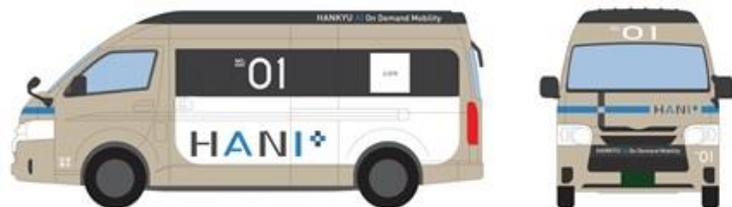
○車両イメージ



5. 予約イメージ

●専用アプリから簡単に予約

(スマホをお持ちでない方は、電話予約もできます。)



【AIオンデマンド交通とは】

「AIオンデマンド交通」とは、従来の定時定路線型の路線バスではなく、利用者の予約に対してAIによる最適な運行ルートを設定し配車をリアルタイムで行う乗合輸送サービスのこと。

利用者は実証運行エリア内のミーティングポイントであれば、どこでも乗降が可能となる。

あくまでオンデマンド交通なので、乗合を前提としており、複数のミーティングポイントを経由しながら運行します。そのため、目的のミーティングポイントに着くまで時間がかかる可能性があります。

